NIE特集

Newspaper In Education

毎月第2・4火曜日発行

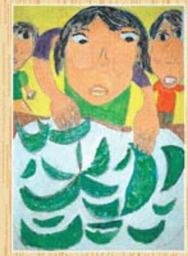
真山小

学校名 大崎市立真山小学校　　校長 相沢 恵子
所在地 大崎市岩出山上真山日向要害2　　児童 45人
電話 0229(77)2301

うきうきキャンバス

ビーズのたからばこ 2年・千葉香里

サツマイモのつるのリース 1年・佐々木菜緒



どれにしようかな 3年・大場愛香理

おいしいラーメン 4年・鈴木 海斗

虫歯予防ポスター 6年・大場育実

歴史の道 芭蕉も通る

上街道とおかっぱ様の謎に迫る!

知り隊

わたしたちが住んでいる真山には「千本松長根」という、両側に松並木が続く山道があります。それは、昔からの街道である「陸奥上街道」の一部で、今でも観光客の人たちが歩いたりしているそうです。わたしたちは、上街道と、その近くにある「おかっぱ様」と呼ばれる神社について、実際に歩き、郷土史を調べている三浦栄太郎さん(五八)と、区長の田代信勝さん(七〇)にお話を伺って、その謎を調べてみました。

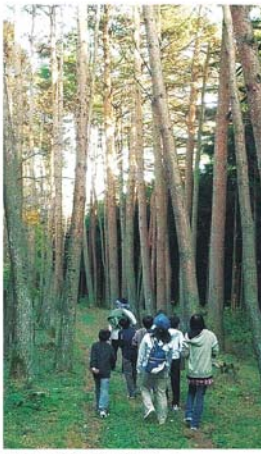
探検のスタートは「おかっぱ様」(磯良神社)です。狛犬の代わりに、かわいい石のかっぱがあり、お堂にはキュウリが供えてありました。

この神社は千年以上も前につくられ、虎吉というかっぱが祭られています。雨を降らせるという御利益があり、昔は奥の院の井戸を棒でかき回して雨乞いをすると、雨が降ったそうです。

神社の周りは、いかにもかっぱが出てきそうな沼でした。

次は、いよいよ上街道。千本松長根は上街道の途中にあります。今回はおかっぱ様の近くの登り口から山に入りました。「上街道」は、千年以上前からあり、源頼朝や松尾芭蕉も通った道です。岩手まで続く街道で、五十キロ以上の長い道です。

昔は、真山から岩出山まで、子どももこの道を歩いたそうです。今回歩いたのはほんの一部ですが、千本松長根に着くまで思ったより時間がかかり、上り下りもあって大変でした。「千本松長根」は、松がずらっと並び、その外側は杉林になっていました。



両側に松並木が続く千本松長根を歩く取材班のメンバー

神社に雨降る御利益

昔からの松は、学校建設のために切ったり、戦時中に油をとるために根を掘ったりしてなくなりました。現在の松や杉は、終戦後に真山の人たちが植えたものです。小学生も毎日一人三十から四十本ぐらい植えて、三、四年かかりました。重い苗を持って山に上るのが大変だったそうです。

上街道は、昔は裸足で歩けるほどきれいな道だったそうです。昔からみんなが大切にしてきたこの場所を、わたしたちも大切にし、未来に受け継いでいきたいと思いました。

文・佐藤美花(6年)笠原一華(5年)

言い隊

■森林は手間かけ育つ■

みなさんは、森林がどれだけ大切か、何に使われているかなど、考えたことがありますか。

わたしは、総合的な学習で森林の勉強をしました。実際に山に見学に行き、枝打ちや間伐をしました。岩出山林業研究会の方のお話も聞きました。そこでわたしは、木はみんなが協力して世話をし、たくさんの手間をかけて大きく育てられるのだということに気付きました。

わたしが住んでいる真山は「自然」の豊かな地域です。森や山が身近にあります。この真山の自然を大切にしていきたいと思います。みなさんも、森や山の自然と触れ合ってみてください。

(5年・泉優香)

■吸い殻ポイ捨て 危険■

ぼくは、自転車で近くの店に行く途中に、たばこのポイ捨てをした人を見かけました。

これまでにも、たばこがあちこちに落ちているのを見たことがあります。ぼくはそのたびに、ポイ捨てしていいのかなあと思っていました。

捨てていったたばこを見たら、なんと火がついたままでした。ぼくは急いで自転車を止め、火を消しました。もし捨てられたのが山の中だったら、山火事になってしまったかもしれません。

たばこの吸い殻は、ポイ捨てをしないで、吸い殻入れに捨てた方がいいと思います。

(4年・佐藤悠人)

教え隊　キラキラ農園

豊作 焼きイモ味わう

近くの保育園児も加わり、大きなサツマイモを収穫。大豊作でした

学校から少し離れた所にある「キラキラ農園」では、縦割り班ごとにサツマイモを育てたり、学年ごとに枝豆やトマト、ナス、落花生、メロン、ダイコンなど、いろいろな作物を育てたりしています。

毎年秋には、収穫したサツマイモで焼きイモを作り、おじいさん、おばあさんたちと一緒においしくいただいています。

昨年夏は、農園で収穫した夏野菜をたっぷり入れて、全校のみんなで「夏野菜カレー」も作りました。

真山小のかけがえのない大切な農園です。

文・伊藤太佑(6年)田代章悟(5年)

編集後記

初めての新聞作りは楽しかったけれど、大変なこともあり、毎日、新聞を作るのはすごいことだと思いました。

取材では、三浦栄太郎さんに、岩出山が源義経の領地だった話や、かっぱとキツネの話、上街道で通せんぼされる話なども聞かせていただきました。ほかにも協力していただいた田代信勝さん、高橋甚熙さん、高橋昌彦さんには、真山にお城があったこと、宝物が埋まっているかもしれないことなどを聞かせていただきました。

初めて聞く話ばかりで、時間を忘れ聞き入りました。全部載せられなかったのが本当に残念です。協力していただいたみなさん、ありがとうございました。

〈編集委員〉
佐藤美花、伊藤太佑(6年)笠原一華、高橋優人、田代章悟(5年)小岩翼(4年)
題字デザイン 千葉郁奈(6年)
〈担当教諭〉
菅原紀子、清和幸彦

次回(2月10日)は鳴瀬小(宮城県加美町)と東四郎丸小(仙台市)です。

新聞作りに参加する小学校を募集しています。申し込みや問い合わせは河北NIE推進事務局022(211)1331へ。